

問1 株式会社の仕組みについて学習した際、出資者である株主が企業の得た利益の中から、その持ち分（保有する株式数）に応じて受け取る分配金の名称として、最も適切なものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 配当 2. 利息 3. 賃金 4. 売上

問2 企業が「企業の社会的責任（CSR）」を果たすために、従業員に対して整えるべき労働環境として、現代の経済において最も重要視されている取り組みはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 従業員が心身ともに健康的に、かつ意欲を持って働き続けられるような職場環境の整備 2. 賃金を低く抑えて会社の利益を増やすために、福利厚生を極限まで削減すること 3. 若手社員に対して、個人の私生活よりも会社の業務を優先させることを義務づけること 4. 労働組合の結成や活動を制限し、経営側の意思決定を一方向的に押し付けること

問3 現代社会の課題と経済に関する学習の中で、ベンチャー企業の特徴や役割について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 島根公立入試 類似）

1. 革新的な技術を用いて新たな事業を展開し、産業の構造変化を促す役割を担う。 2. 世界各地に工場や販売拠点を置き、国境を越えて巨大な資本を動かす。 3. 市場における競争を避け、特定の企業が商品価格や供給量を一方的に決定する。 4. 国や地方公共団体が全額出資し、利益よりも公共の福祉を優先して事業を行う。

問4 総務省の「労働力調査」に基づいた日本の非正規雇用の現状について、2018年前後の統計状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

1. 非正規雇用で働く人の数は男性よりも女性の方が多く、女性の雇用者全体に占める非正規の割合は5割を超えている。 2. 非正規雇用で働く人の数は男性の方が女性よりも多く、主に若年層の男性において正規雇用からの置き換えが進んでいる。 3. 非正規雇用者の総数は労働者全体の約1割程度に留まっており、その大半は学生によるアルバイトである。 4. 景気回復の影響により、すべての年齢層において非正規雇用から正規雇用への転換が完了し、非正規雇用者数は減少に転じている。

問5 日本の主要な業種（製造業、卸売業、小売業、サービス業）の従業員構成について述べた資料において、中小企業に勤務する従業員の割合が約61.6%と最も低く、相対的に大企業で働く従業員の割合が最も高い業種を選択してください。（2022年 愛知公立入試 類似）

1. 製造業 2. 卸売業 3. 小売業 4. サービス業

問6 現代の企業は、単に利潤を追求するだけでなく、法令の遵守や環境の保護、雇用の維持、消費者の安全確保など、社会に対して一定の役割を果たすことが求められています。このような企業が負うべき責任を何と呼びますか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 企業の社会的責任（CSR） 2. 持続可能な開発目標（SDGs） 3. 所有と経営の分離 4. 知的財産権の保護

問7 現代の労働環境において、働く人々が仕事にやりがいを感じながら、家庭での生活や地域での活動とも調和を保ち、多様な生き方を選択・実現できるという考え方を何といいますか。（2023年 長野県公立入試 類似）

1. ワーク・ライフ・バランス 2. ライフサイクル 3. キャリアパス 4. ナショナル・トラスト

問8 株式会社の仕組みにおいて、株主が持つ権利や特徴について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 保有する株式の数に応じて、会社が得た利潤の一部を配当金（分配金）として受け取る権利を持つ。 2. 会社が多額の負債を抱えて倒産した際、個人の財産をすべて投げ出して借金を返済する義務を負う。 3. 会社に対して一定期間資金を貸し出し、業績に関わらずあらかじめ決められた利息を受け取る。 4. 会社の所有者として、毎日の具体的な事務作業や工場の運営指揮を直接行うことが主な役割である。

問9 仕事と個人の生活の調和を図り、その両立を可能にすることで、質の高い仕事と充実した私生活の双方を目指す考え方を何というか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. ワーク・ライフ・バランス 2. バリアフリー 3. フェアトレード 4. ユニバーサルデザイン

答え合わせ・解説

問1	答え 1 配当	株式会社は多くの人々から事業資金を集めて運営されます。資金を出して株式を購入した株主は、その企業の所有者の一人となります。企業が事業を通じて利益を上げた場合、その利益の一部は株主に還元されます。これを「配当」と呼び、銀行への預金に対して支払われる「利息」や、労働の対価として支払われる「賃金」とは区別されます。
問2	答え 1 従業員が心身ともに健康的に、かつ意欲を持って働き続けられるような職場環境の整備	CSRの概念には、株主や消費者だけでなく、従業員に対する責任も含まれます。心身の健康を守り、働きがいのある職場環境を作ることは、企業が持続的に成長し、社会的な信頼を得るために不可欠な要素です。不当な労働条件の強要は社会的な批判の対象となり、企業の価値を大きく損なうことにつながります。
問3	答え 1 革新的な技術を用いて新たな事業を展開し、産業の構造変化を促す役割を担う。	ベンチャー企業は、リスクを恐れず新しい分野に参入することで、社会に新しい価値や利便性をもたらします。他の選択肢にある「国境を越えた活動」は多国籍企業、「価格の決定権を握る」のは独占企業、「公共の福祉を優先」するのは公営企業の特徴であり、ベンチャー企業の定義とは異なります。
問4	答え 1 非正規雇いで働く人の数は男性よりも女性の方が多く、女性の雇用者全体に占める非正規の割合は5割を超えている。	2018年の統計では、非正規雇用者数2120万人のうち、女性は1451万人（女性雇用者の56.0%）を占めており、男性の669万人（男性雇用者の22.2%）と比較して人数・割合ともに高い水準にあります。育児や家事との両立を理由にパートやアルバイトを選択する女性が多いことが、この背景にあります。
問5	答え 3 小売業	日本の企業数の大半は中小企業が占めていますが、従業員数の割合は業種によって異なります。小売業では、大規模なチェーン展開を行うスーパーマーケットやコンビニエンスストア、百貨店などの大企業の影響力が強く、製造業（65.3%）や卸売業（72.2%）と比較しても、大企業に勤務する人の占める割合が高いという特徴があります。
問6	答え 1 企業の社会的責任（CSR）	企業は社会の中で大きな影響力を持つ存在であるため、利益を上げるだけでなく、環境への配慮や法令遵守、消費者の安全確保といった責任を負う必要があります。これを企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）と呼びます。SDGsは持続可能な開発目標そのものを指し、所有と経営の分離は株主と経営者が分かれている体制を指す用語です。
問7	答え 1 ワーク・ライフ・バランス	「仕事と生活の調和」と訳されるこの概念は、長時間労働の是正や、仕事以外の生活（育児、介護、地域活動、自己啓発など）を充実させることを目指しています。少子高齢化が進む日本において、多様な人材がその能力を発揮し、健康で豊かな生活を送るために重要な考え方となっています。選択肢にあるライフサイクルは「人生の周期」、キャリアパスは「目標とする職務に向けた経験の道筋」を指す用語であり、文脈が異なります。
問8	答え 1 保有する株式の数に応じて、会社が得た利潤の一部を配当金（分配金）として受け取る権利を持つ。	株主は会社に出資した見返りとして、会社の利益を分配してもらう権利を持っています。これを配当金（分配金）と呼び、持っている株式の数が多いほど受け取れる額も多くなります。また、株主の責任は出資した額の範囲に限定される「有限責任」であるため、会社が倒産しても出資額以上の借金を背負うことはありません。
問9	答え 1 ワーク・ライフ・バランス	「ワーク（仕事）」と「ライフ（生活）」の「バランス（調和）」という言葉の通り、働く人々が仕事にやりがいを持ちながら、育児や介護、趣味や地域活動などの私生活も充実させることを目指す考え方である。選択肢にあるバリアフリーは障壁を取り除くこと、フェアトレードは公正な貿易を指す。